

日田市中小企業訪問調査結果の報告書

調査の概要

1 目的

本調査は、平成 28 年 4 月に施行した「日田市中小企業振興基本条例」第 18 条（意見の聴取）の規定に基づき、市内の中小企業の現状や課題、その解決に必要なニーズを把握するため、企業を訪問してヒアリングを実施したもの。

ここで集約した調査結果は、平成 29 年 4 月に策定予定の「日田市中小企業振興計画」（仮称）に反映させる。

2 調査対象

日田市内の中小企業 100 社

訪問先の抽出にあたっては、平成 26 年度経済センサス基礎調査における日田市内の事業所数 4,217（公務等を除く）を基に、日本標準産業分類の中分類ごとの割合から件数を算出。

	産業分類	H26 経済センサス事業所数	割合 (%)	訪問数
1	農林漁業	72	1.71	2
2	鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.02	1
3	建設業	421	9.98	10
4	製造業（食料品・飲料・たばこ・飼料）	99	2.35	2
5	製造業（木材・木製品・家具・装備品・パルプ・紙・紙加工品）	209	4.96	5
6	製造業（繊維・化学・金属・非金属・機械・その他）	139	3.30	4
7	電気・ガス・熱供給・水道業	6	0.14	1
8	運輸業、情報通信業	102	2.42	2
9	卸売業、小売業	1,085	25.73	25
10	金融業、保険業	64	1.52	2
11	不動産業、物品賃貸業	310	7.35	7
12	サービス業（宿泊・飲食・生活関連ほか）	1,335	31.65	30
13	教育、学習支援業	112	2.66	3
14	医療、福祉	262	6.21	6
計		4,217	100.0	100

3 実施時期

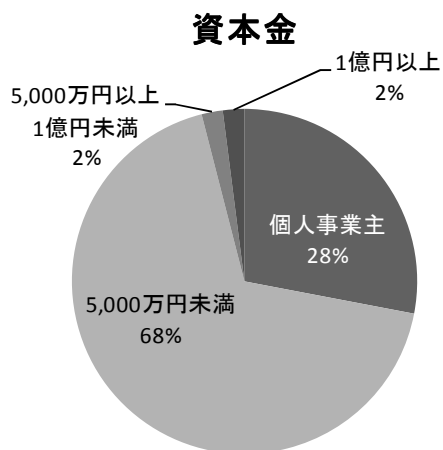
平成 28 年 7 月 1 日～9 月 30 日

問 1 : 資本金

企業の資本金額を教えてください。

1. 個人事業主
2. 5,000 万円未満
3. 5,000 万円以上～1 億円未満
4. 1 億円以上

資本金 5,000 万円未満の中小企業が 96%を占めている。資本金 5,000 万円未満の法人が 68%と最も高く、次いで個人事業主が 28%、5,000 万円以上～1 億円未満が 2%、1 億円以上が 2%と続いた。



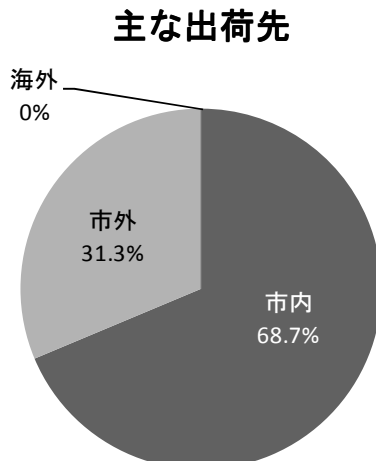
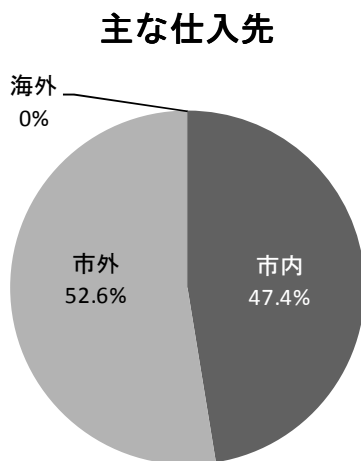
問 2 : 主な仕入先、主な出荷先

主な仕入先、出荷先の所在地を教えてください。

1. 市内
2. 市外
3. 海外

主な仕入先の所在地は、「日田市内」が 47.4%、「市外、県外」が 52.6%で、市外から仕入れる割合が若干多くなっている。「市外、県外」で多かったのは、福岡県、次いで大分市であった。

これに対して、主な出荷先の所在地は「日田市内」が 68.7%と、「市外、県外」の 31.3%よりも割合は多い。「市外、県外」では主な所在地は福岡であった。



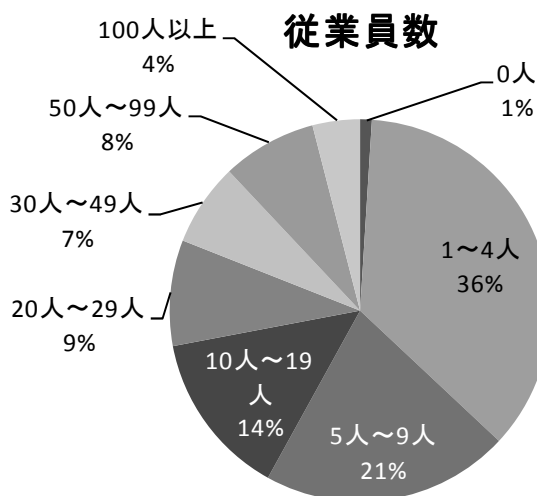
問3：従業員数

従業者数（パート・アルバイト・派遣職員等を含む）を教えてください。

1. 0人 2. 1～4人 3. 5～9人 4. 10～19人
5. 20～29人 6. 30～49人 7. 50～99人 8. 100人以上

全業種における従業員数は、0人の事業者が1（1%）、1人～4人が36（36%）、5人～9人が21（21%）、10人～19人が14（14%）、20人～29人が9（9%）、30人～49人が7（7%）、50人～99人が8（8%）、100人以上が4（4%）であり、従業員4人以下の小規模な事業者は全体の37%を占めた。

また、産業分類、中小企業基本法における小規模事業者の定義により、製造業、その他は従業員20人以下、卸・小売業、サービス業は従業員5人以下の小規模事業者は59であり、全体の59%を占めた。



(中小企業者の定義)

産業分類	中小企業基本法の定義
製造業、建設業 運輸業、その他	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社並びに常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人

(小規模事業者の定義)

産業分類	中小企業基本法の定義
製造業、その他	中小企業者の内、従業員20人以下
商業（卸・小売）、サービス業	中小企業者の内、従業員5人以下

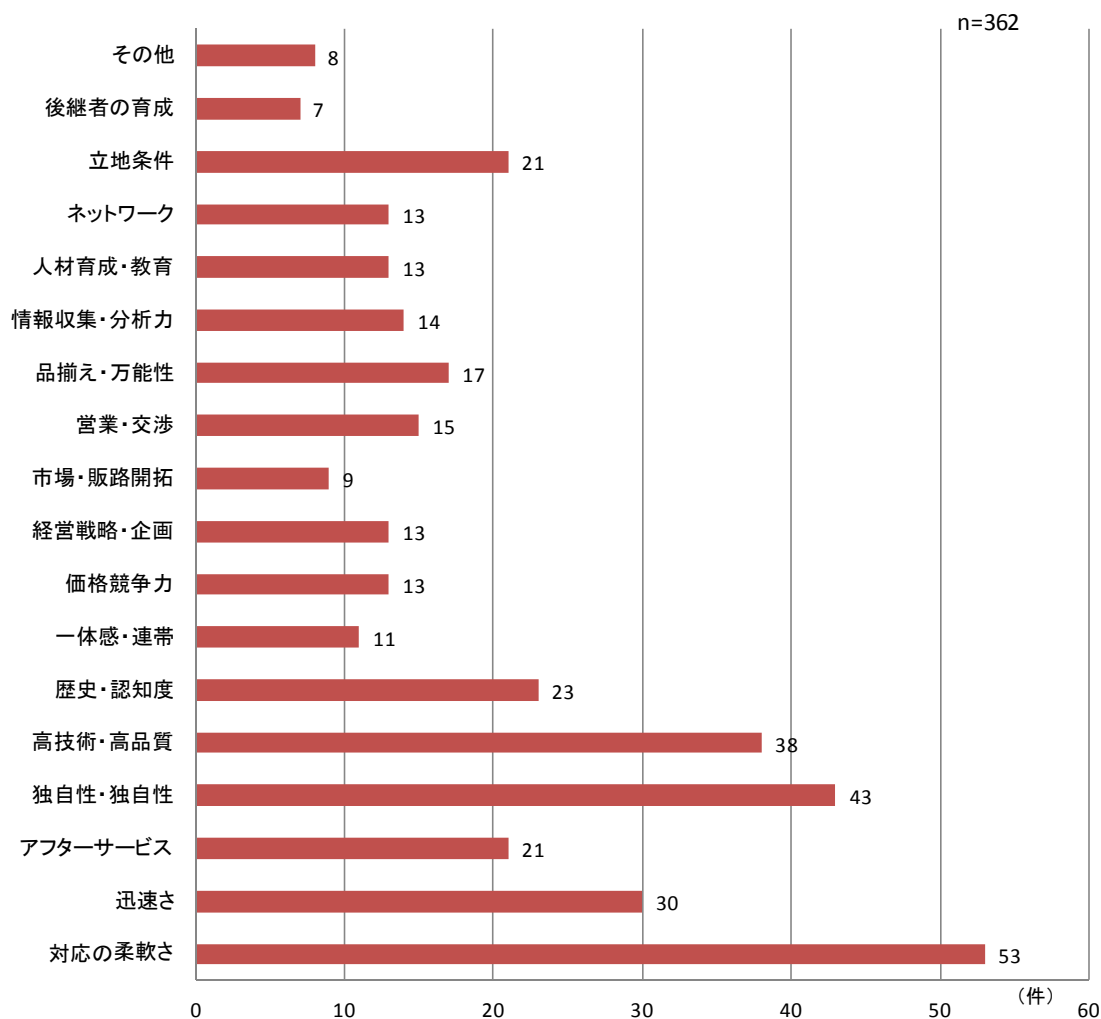
問4：企業の強み

企業の強みを教えてください。(複数選択可)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 対応の柔軟さ | 2. 迅速さ | 3. アフターサービス |
| 4. 独自性・独創性 | 5. 高技術・高品質 | 6. 歴史・認知度 |
| 7. 一体感・連帯 | 8. 価格競争力 | 9. 経営戦略・企画 |
| 10. 市場・販路開拓 | 11. 営業・交渉 | 12. 品揃え・万能性 |
| 13. 情報収集・分析力 | 14. 人材育成・教育 | 15. ネットワーク |
| 16. 立地条件 | 17. 後継者の育成 | 18. その他 |

全業種における回答では、362件の回答のうち、「対応の柔軟さ」が53件と最も多く、次いで「独自性・独創性」が43件、「高技術・高品質」が38件、「迅速さ」が30件と続いた。また、「その他」の回答8件の主なものは、「お客への親切丁寧な対応」が4件あった。

企業の強み



問5:景況感

問5-1 過去1年間の経営状況を教えてください。

1. 非常に良い 2. 良い 3. やや良い 4. 変化なし
5. やや悪い 6. 悪い 7. 非常に悪い

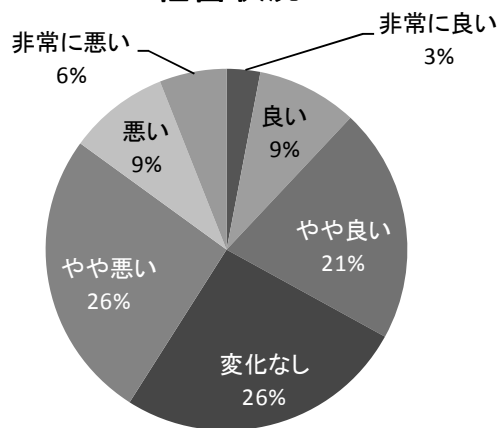
全業種における回答の割合は、「非常に良い」が3% (3)、「良い」が9% (9)、「やや良い」が21% (21)、「変化なし」が26% (26)、「やや悪い」が26% (26)、「悪い」が9% (9)、「非常に悪い」が6% (6)であった。

「やや悪い」から「非常に悪い」までが、41%を占め、「非常に良い」から「やや良い」までの33%を上回っており、市内の中小企業の経営状況は、依然として厳しい状況にあると考えられる。

なお、「非常に良い」から、「非常に悪い」までの、7段階の判断に、それぞれ下表のカッコ内の点数を与え、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて算出した景気 DI は、下記のとおりである。

非常に悪い	悪い	やや悪い	変化なし	やや良い	良い	非常に良い
← 0	1/6	2/6	3/6	4/6	5/6	6/6 →
(0)	(16.7)	(33.3)	DI=(50)	(66.7)	(83.3)	(100)
判断の分かれ目						

経営状況



産業分類別の景気 DI

	産業分類	景気 DI	回答数
1	全体	47.7	100
2	小規模企業者	47.7	59
3	その他の中小企業	47.6	41
4	農林漁業	41.7	2
5	鉱業・採石業等	16.7	1
6	建設業	58.3	10
7	製造業（食料・飲料等）	25.0	2
8	製造業（木材・家具等）	60.0	5
9	製造業（金属・機械・その他）	50.0	4
10	電気・ガス・水道業等	83.3	1
11	運輸・通信業	16.7	2
12	卸・小売業	38.7	25
13	金融・保険業	33.3	2
14	不動産・物品賃貸業	54.8	7
15	サービス業	50.6	30
16	教育・学習支援業	50.0	3
17	医療・福祉	55.5	6

㈱帝国データバンクが平成 28 年 8 月に調査を行った全国の景気 DI は 42.3 であり、本調査における全業種の景気 DI は 47.7 と、全国の景気 DI より 5.4 高く、今回訪問した市内の中小企業の景況感は比較的良好と考えられる。

業種ごとでは、サンプル数が少ない業種もあるため把握は難しいが、サンプル数が 1 や 2 を除いて、製造業（木材・家具等）（60.0）、建設業（58.3）、医療・福祉（55.5）、不動産・物品賃貸業（54.8）、サービス業（50.6）などの分野が比較的良好な状況にあり、卸・小売業は 38.7 と、最も悪かった。

企業からの主な意見

(1) 「非常に良い」から「やや良い」と答えた企業

- ・防災関連で橋梁、トンネルの保守点検が増えた。
- ・プレハブ事務所の建設需要が増えている。
- ・地震の影響で廃棄物の受入などの仕事が増えた。
- ・取引先の設備投資が進んだため、仕事の受注があった。
- ・販路拡大による売上の増加。
- ・お客様（ホテル、旅館、料飲店）の開拓。
- ・インターネットを中心にインバウンド（韓国）の売上が増加した。
- ・長年の人との付き合い、続けてきた信頼感。
- ・昨年採用した 3 人の従業員のスキルが上がり生産性も向上した。
- ・金利、地価が下がっているため、分譲住宅が売れている。新しいマンションの影響により古いアパートが苦戦している。

(2) 「やや悪い」から「非常に悪い」と答えた企業

- ・地震の影響により観光客の減、車の通行量の減。
- ・地震による国道 212 号の通行止めにより観光業が落ち込んだため、4～6 月の旅館等からの受注が激減した。
- ・地震や火災等によるサプライチェーン寸断の影響があったため。
- ・地震の影響で 4 月はキャンセルが多かった。ふっこう割が終わった後のしわ寄せが不安。
- ・機械を補助金なしで購入し、投資コストが大きくなったため。
- ・同業者間の競争の激化による低価格化。
- ・公共工事の減。
- ・売上が伸びない。原材料であるしいたけの生産量が減少している。
- ・人口減少。古いお客様が自然減していくが、新規の開拓は厳しい。
- ・若者の飲酒ばなれや団塊世代の退職により、飲酒機会、需要の減少。福岡の飲酒運転の事故からお酒へのイメージが悪くなった。
- ・金融緩和により市場の金利が低下しているため、利息収入が減収となっている。

- ・介護サービスの多様化により利用者が分散した。
- ・厚生労働省の報酬改定により報酬額が下がったため、収入が減少した。

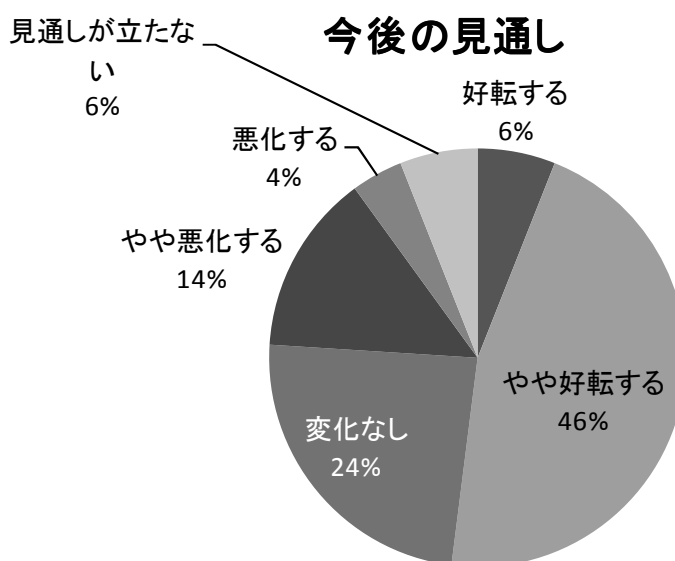
問5-2 今後の経営状況の見通しを教えてください。

1. 好転する
2. やや好転する
3. 変化なし
4. やや悪化する
5. 悪化する
6. 見通しが立たない

全業種における回答の割合は、「好転する」が6% (6)、「やや好転する」が46% (46)、「変化なし」が24% (24)、「やや悪化する」が14% (14)、「悪化する」が4% (4)、「見通しが立たない」が6% (6)であった。

「好転する」から「やや好転する」が、全体の52%と、「やや悪化する」から「悪化する」までの18%を大幅に上回った。

なお、「好転する」から「悪化する」までの5段階の判断（回答のうち、「見通しが立たない」は、サンプル数より外す）にそれぞれ下表のカッコ内の点数を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じて算出した景気予想DIは、次のとおりである。



景気予想DI

悪化する	やや悪化する	変化なし	やや好転する	好転する
0	1/4	2/4	3/4	4/4
(0)	(25)	DI=(50)	(75)	(100)
判断の分かれ目				

	産業分類	景気予想 DI	回答数	景気予想 DI －景気 DI
1	全体	59.6	94	11.9
2	小規模企業者	60.2	54	12.4
3	その他の中小企業	58.8	40	11.2
4	農林漁業	75.0	2	33.4
5	鉱業・砕石業等	—	0	—
6	建設業	57.5	10	▲0.8
7	製造業（食料・飲料等）	50.0	2	25.0
8	製造業（木材・家具等）	50.0	5	▲10.0
9	製造業（金属・機械・その他）	75.0	4	25.0
10	電気・ガス・水道業等	50.0	1	▲33.3
11	運輸・通信業	25.0	1	8.3
12	卸・小売業	60.0	25	21.3
13	金融・保険業	50.0	2	16.7
14	不動産・物品賃貸業	54.2	6	▲0.6
15	サービス業	64.3	28	13.7
16	教育・学習支援業	41.7	3	▲8.3
17	医療・福祉	60.0	5	4.5

全業種における景気予想 DI は 59.6 と、景気 DI より 11.9 高くなった。

小規模事業者の景気予想 DI は 60.2 と、その他の中小企業 58.5 と比較すると 1.4 高く、景気 DI の差（景気予想 DI－景気 DI）の比較においても、12.4 と、その他の中小企業（11.2）より 1.2 高い結果となった。

業種別における景気予想 DI は、サンプル数が 1 や 2 を除いて、製造業（金属・機械・その他）が、75.0 と最も高く、最も低い業種は、教育・学習支援業の 41.7 であった。

業種別の景気 DI の差（景気予想 DI－景気 DI）では、製造業（金属・機械・その他）が 25.0 と最も高く、製造業（木材・家具等）が▲10.0 と最も低い結果となった。

全体的に、現状の経営状況より、今後はやや好転するとの回答が多く、今回訪問した企業の中には、厳しい状況の中でも着実に新商品開発や販路開拓を進めている企業が多かったと推測される。

企業からの主な意見

(1) 「好転する」から「やや好転する」と答えた企業

- ・本格的な復旧工事を見込んでいる。
- ・観光客が戻ってくると期待している。
- ・ふっこう割でお客が多い。このお客にリピーターになってもらう対策が重要。
- ・社員を1名増やすので、生産量の増加が見込める。
- ・県外への新たな販路が広がった。
- ・インターネットでのPRに力を入れて宅配事業の受注増加を目指す。
- ・お店の知名度がまだまだ低いため、今後の取組みによっては需要の増が見込める。(まだ伸びしろがある)
- ・国のものづくり補助金等を使って、食品加工業や製材業がエコ技術を取り入れた設備投資を進めているため、建築設備設計の需要は増えている。

(2) 「やや悪化する」から「悪化する」と答えた企業

- ・地震の影響が大きい。ふっこう割は期待しているが先が見えない。
- ・山田SAに納品しているが、地震の影響による通行車両の減により売上げが減少した。
- ・ふっこう割終了後の落ち込みが心配。
- ・取引業者の後継者不足。
- ・官公庁の仕事が減少。
- ・経済が低迷しており、設備資金などの資金需要が少なく、さらには日銀のマイナス金利政策などにより減収見込みである。
- ・対応策次第。新たなことをしていかないと先行きは厳しい。

問6：設備投資計画の有無

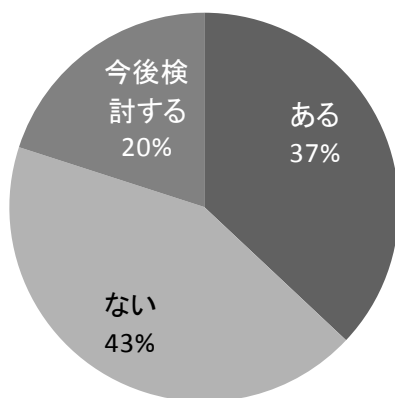
今後の設備投資の予定について教えてください。

1. ある 2. ない 3. 今後検討する

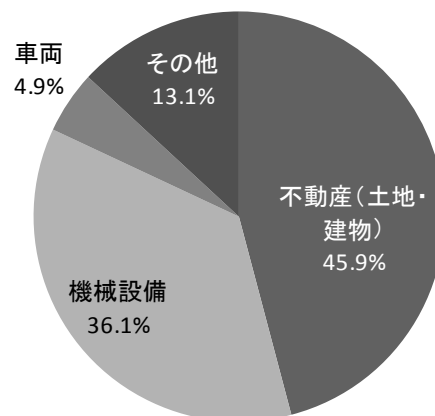
今後の設備投資の予定は、「予定がない」が43%（43）と最も高く、次いで「予定がある」が37%（37）、「今後検討する」が20%（20）と続いた。

また、「予定がある」、「今後検討する」と回答した企業にその内容を聞いたところ、「不動産（土地・建物）」が45.9%、「機械設備」が36.1%、「車両」が4.9%、「その他」が13.1%であった。

設備投資計画



設備投資具体的な内容



企業からの主な意見

〈設備投資の主なもの〉

工場の増設、工場の集約、県外営業所の開設、土地購入、店舗のリニューアル、下水道工事、空調設備の改修、エレベーターの改修、冷凍庫、風呂の改修、溶接ロボットの導入、機械や車両の更新、重機、ダンプの更新、パソコン、ソフトの更新 など。

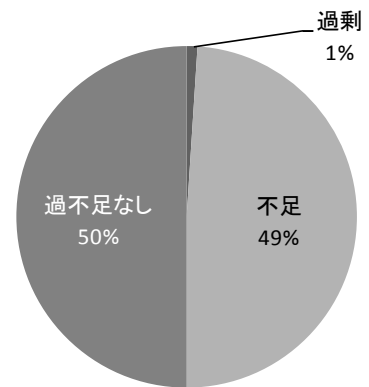
問7：雇用状況

問7-1 雇用人員の状況について教えてください。

1. 過剰 2. 不足 3. 過不足なし

雇用人員の状況については、「過不足なし」が50%、「不足」が49%と、ほぼ同数となった。「過剰」と答えたのは1%。

雇用人員状況

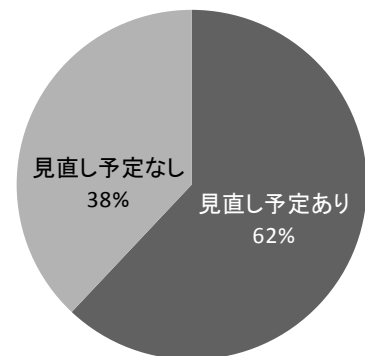


問7-2 今後の雇用の見直しについて教えてください。

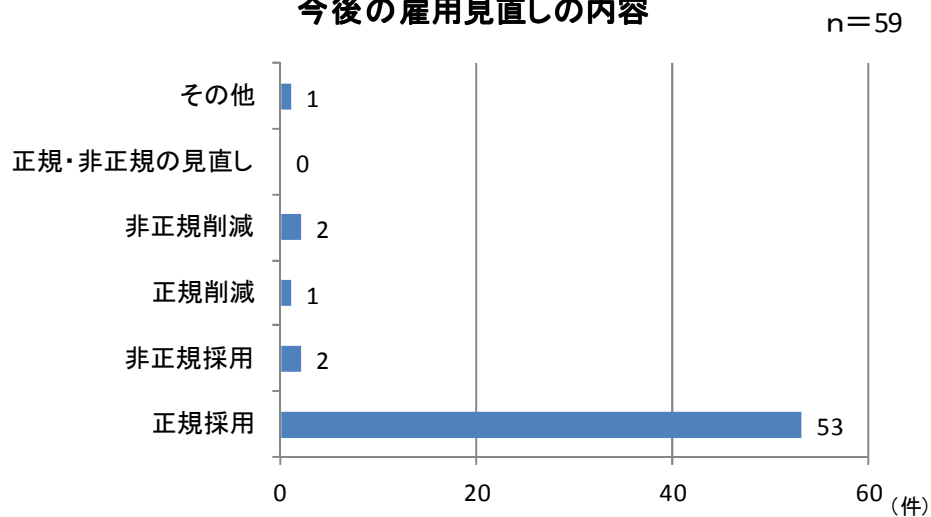
1. 見直し予定あり 2. 見直し予定なし

今後の雇用の見直しについて、「予定あり」が62%、「予定なし」が38%であった。全体の6割が雇用の見直しを予定しており、その内容のほとんどが正社員の採用であった。

今後の雇用見直し



今後の雇用見直しの内容



企業からの主な意見

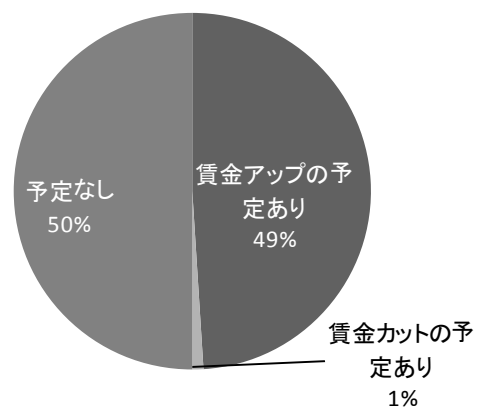
- ・社員を全員、非正規から正規に変えた。結果、売上は 1.5 倍にのびた。社員の保障が大事。
- ・3年後には従業員数 100 名を目指したい。
- ・社員の高年齢化のため若者を採用したい。
- ・求人を出してもこないなので、今は 60 歳以上も採用している。(土日勤務がネックになっているようだ)
- ・工場や機械を増やしているが、それを扱う人員が確保できない状況である。
- ・ドライバーがいない。
- ・仲居さんの雇用が難しい。
- ・ハローワーク、農業大学校に求人を出しているが、なかなか応募がない
- ・ハローワークより知人からの紹介に重きを置いている。
- ・経営が厳しく雇用できない。

問7-3 賃金の見直しについて教えてください。

1. 賃金アップの予定あり 2. 賃金カットの予定あり 3. 予定なし

賃金の見直しについては、毎年の昇給を含めて「賃金アップの予定あり」が 49%、業績によっては考えたいという回答も含めて「予定なし」が 50%、「賃金カットの予定あり」が 1%となった。

賃金の見直し



企業からの主な意見

- ・4月に昇給した。賞与も支給した。
- ・昇給はしたが、ベースアップはしていない。
- ・職種、年齢、勤務形態によって個別に昇給をしている。
- ・業績が上がれば賃金も上げたい。パートにもボーナスを支給している。
- ・業績が上がればボーナスで対応したい。
- ・時給を上げて募集しないと人が集まらない状況。
- ・能力給で東京水準の給与を支給している。

問7-4 ワークライフバランスの取組について教えてください。

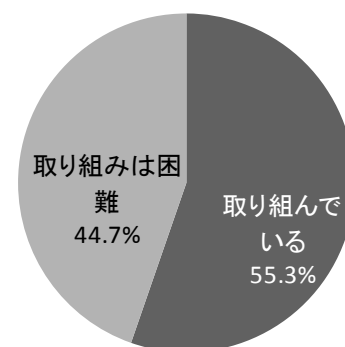
1. 取り組んでいる 2. 取組は困難

ワークライフバランスについて、「取り組んでいる」が55.3%、「取組は困難」は44.7%となった。

取り組んでいると答えた中には、社員旅行や慰労会などを行っているという意見もあった。

また、残業がないので特段取り組んでいないという意見もあった。

ワークライフバランス



企業からの主な意見

- ・基本的には18時には退社してもらっている。
- ・雨で作業できない日は休みにするなど工夫している。
- ・飲食宿泊業であっても、家族の行事を優先して、土日に用事があれば休めるようにしている。
- ・3連休を取れるよう推進している。休みには地域のことに頑張ってもらいたい。
- ・家族経営なので融通はきく。
- ・1年間の労働日数を決めているので、社員の有休取得率は100%に近い状況。
- ・仲居さんの勤務時間6時-10時、16時-22時のシフトを柔軟にまわしている。
- ・ノー残業デーの実施。
- ・ワークライフバランスの指導者養成セミナーに参加している。
- ・職域対抗のソフトボールやボウリングに参加するようにしている。

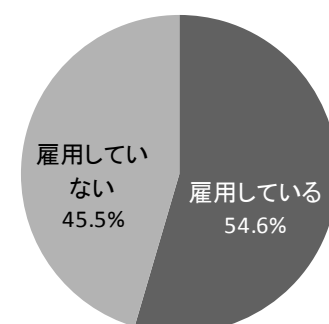
問7-5 子育て世代の女性の雇用について教えてください。

1. 雇用している 2. 雇用していない

子育て世代の女性を「雇用している」が54.6%、「雇用していない」が45.5%となった。

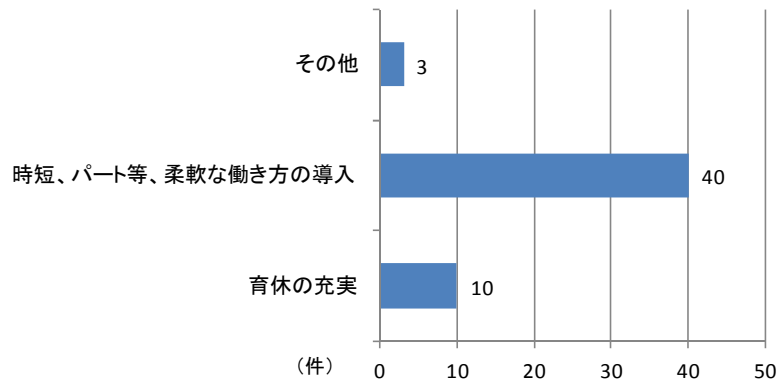
半数以上の企業が子育て中の女性を雇用しており、多くの企業では、時短、パート等、柔軟な働き方を導入し、女性が働きやすい環境を整えている。

子育て世代の女性



子育て世代の女性の雇用内容

n=53



企業からの主な意見

- ・ 30分勤務時間を遅くするなど工夫している。
- ・ 正社員からパート（土日休み）に変更するなどの対応をしている。
- ・ 小さい子どもがいる人にはなるべく夜勤を入れないようにしている。
- ・ 会社内に託児所を設置し、子育て世代の女性も働きやすい職場環境の整備に努めている。
- ・ 子どもの行事にあわせて休みがとれるよう配慮している。
- ・ 育休取得者の70%は職場復帰している。
- ・ 育休をほとんどの人が1年とっている。13人出産したうち10人が復帰している。
- ・ 雇用すれば考える。
- ・ 雇用する余裕がない。

問7-6 新卒の採用について教えてください。

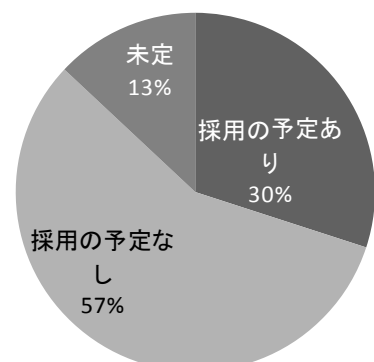
1. 採用の予定あり 2. 採用の予定なし 3. 未定

新卒の採用については、「予定なし」が57%、「予定あり」が30%、「未定」が13%となった。

訪問した企業の中には、即戦力を求めているといった意見や、新卒を一から育てるのは難しいと意見があった。

また、新卒の求人を出しているが、応募がないといった意見もあった。

新卒の採用



企業からの主な意見

- ・ 毎年、大卒 3～4 人、高卒 4～5 人ほど採用している。
- ・ 昨年は APU 卒の男性を 1 名採用した。フロントに配置している。
- ・ 毎年とはいかないが定期的に高卒の採用を考えたい。
- ・ 若者に日田に残ってほしい。よりすぐれた人材が残れる環境を作りたい。
- ・ CAD が使用できる中途採用を希望。
- ・ UI ターンで帰ってくるやる気のある人がほしい。いったん外に出て、2,3 年でやっぱり田舎がいいと帰ってくるような人を採用したい。
- ・ UI ターンの即戦力がほしい。
- ・ 新卒の社員を教育するのは難しい。

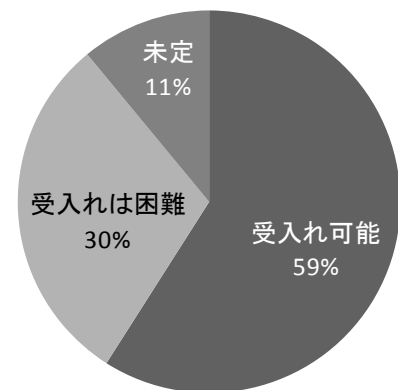
問 7-7 インターンシップの受入れについて教えてください。

1. 受入れ可能 2. 受入れは困難 3. 未定

インターンシップの受入れについては、「受入れ可能」が 59%、「受入れ困難」が 30%、「未定」が 11%となった。

市内の中学校、高校から要請を受け、毎年、インターンシップを受け入れている企業もあった。

インターンシップ



企業からの主な意見

- ・ 大学生のアイデアで顧客管理システムを作ってほしい。
- ・ 大学からのインターンシップには物流のシステムの開発をしてもらいたい。
- ・ 大学生には、従来の業務にプラスして新しいサービスの提案をしてほしい。
- ・ 危険な業務のため受入れは困難。
- ・ 仕事を立て込んでいると、生徒の世話をすることが困難。
- ・ 日田支援学校の生徒を受け入れたがよく働いてくれたので卒業後は採用したいと考えている。

問8：経営上の課題

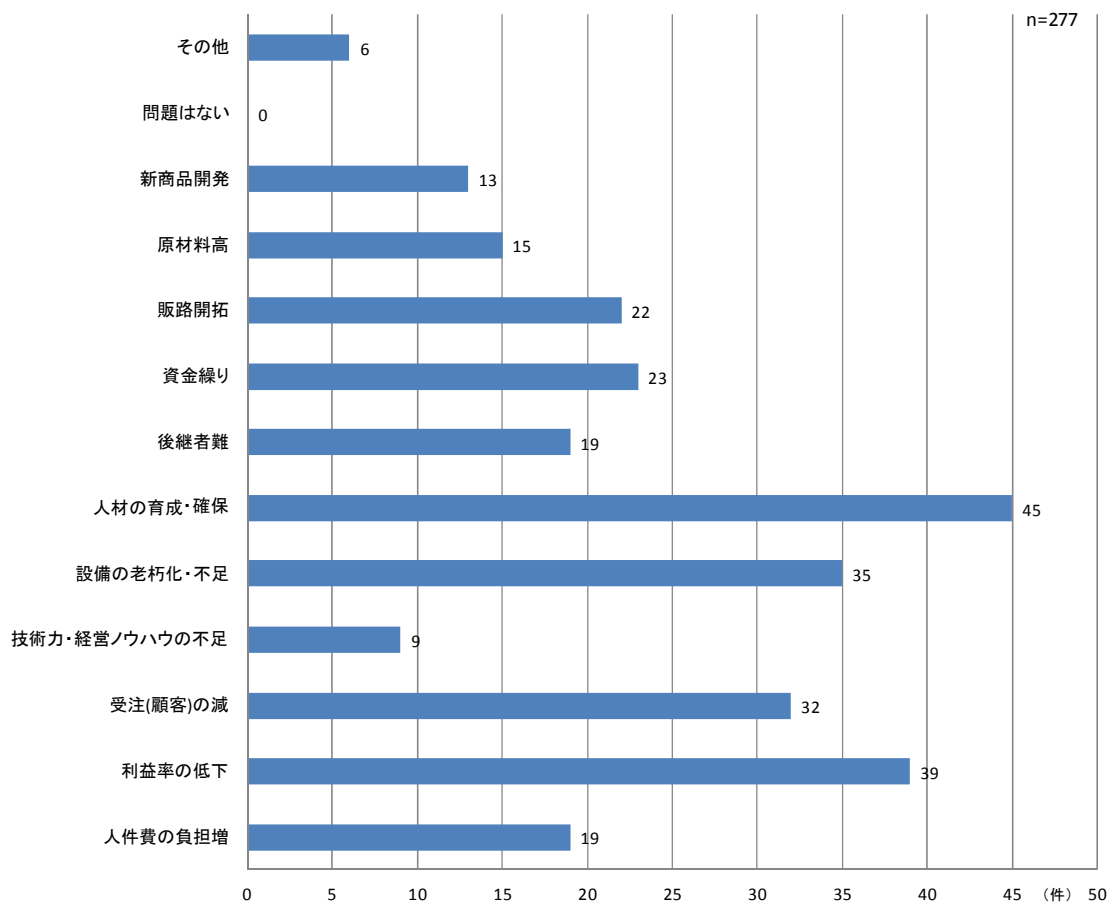
経営上の課題を教えてください。(複数選択可)

- | | | |
|------------------|------------|--------------|
| 1. 人件費の負担増 | 2. 利益率の低下 | 3. 受注(顧客)の減 |
| 4. 技術力・経営ノウハウの不足 | | 5. 設備の老朽化・不足 |
| 6. 人材の育成・確保 | 7. 後継者難 | 8. 資金繰り |
| 9. 販路開拓 | 10. 原材料高 | 11. 新商品開発 |
| 12. 問題はない | 13. その他() | |

全業種における回答は、277件の回答のうち、「人材の育成・確保」との回答が45件と最も多く、次いで「利益率の低下」が39件、「設備の老朽化・不足」が35件、「受注(顧客)の減」の順となった。最も少ない回答は、「問題はない」の0件であった。

その他(6)の回答の主なものには、「原材料の不足」、「仕入先の開拓」、「駐車場の確保」、「新たな店舗展開」、「インターネット販売への取組」などがあつた。

経営上の課題



企業からの主な意見

(利益率の低下)

- ・ 価格転嫁が厳しい。
- ・ 仕事量は増えているが収益は上がらない。

(受注(顧客)の減)

- ・ 顧客が高齢化している。
- ・ 家で調理をする機会が減少しているので醤油などの需要は減っている。
- ・ 住宅が建たないため建築の金具は厳しい。
- ・ 震災により売り上げが激減している。

(技術力・経営ノウハウの不足)

- ・ 写真の撮り方など、インターネット広告のテクニックが不足している。

(設備の老朽化・不足)

- ・ うどんを打つ機械を更新したいが 200 万～300 万するので厳しい。
- ・ 作業のオートメーション化を進めたい。
- ・ 駐車場の確保が難しい。

(人材の確保・育成)

- ・ 高校生が都市部に流出して地元に残らない。採用してもすぐにやめてしまう。
- ・ 商店街においては人材の育成が重要。
- ・ 職人、下請けに人がいない。せっかく仕事があっても受けられない。
- ・ 中型免許をとってからでないと大型免許がとれなくなったため、運転免許を持った人材の確保が難しくなりそう。

(後継者難)

- ・ 現在、会社の経営に携わっている社員がいないため、できるだけ早い時期に後継者育成に取り組みたい。

(資金繰り)

- ・ 国、県、市からの補助金をとれても清算払いなので、それまでに立て替えるお金を工面するのが大変。

(販路開拓)

- ・ インターネットでも情報発信しているが、売上増につなげるのは難しい。

(原材料高)

- ・ 水道料金が上がり年間 60 万円の経費が余分にかかっている。
- ・ 料理の原価率が上昇している。

(新商品開発)

- ・ 新商品開発の投資コストを回収できるまでに時間がかかる。
- ・ 試作品はすべて自費で作っており、かなり経費がかかっている。
- ・ 他社と競争にならない新分野を開拓したい。

問9：主な相談先

主な相談先を教えてください。(複数回答可)

相談先で最も多かったのは、「税理士、公認会計士、会計事務所」で36件、次いで「金融機関」が26件、「商工会議所、商工会」が19件となった。他に同業業者や経営者との情報交換といった回答もあった。

相談先は特にないと答えたのは12件であった。

その他(要望など)：企業からの主な意見

(経営基盤の安定強化)

- ・一般の人が参加しやすいセミナーや催しを開催してほしい。
- ・大分市では様々な経営セミナーが開催されているが、日田でももっと開催してほしい。
- ・セミナー開催の情報提供をしてほしい。また情報発信力を強化してほしい。
- ・柔軟な融資の支援をお願いしたい。
- ・有利な融資を利用したい。
- ・展示会や催事、商談会などの情報提供をしてほしい。また、出展する際の旅費の支援があれば有難い。
- ・販路開拓への支援をお願いしたい。
- ・福岡でどういうものが流行っているのか、情報を流してほしい。
- ・日田市ビジネスサポートセンターの名前は「ミートポイント」にしてはどうか。人がそこに集まって、いろいろな意見を出せば化学変化が起きる。

(中小企業の活用による地域内の経済循環の創出)

- ・条例を広く周知してもらい、市民に市内の製品、サービスを利用するよう呼びかけてほしい。
- ・イベントを多く開催して、日田の食をアピールしてほしい。
- ・日田にはビール、焼酎、日本酒、水や氷の製造会社があり、洋酒に関する博物館もある。ひとつの市にこれだけ集まっているところは他にないので、「お酒文化のまち」として大いにPRしてほしい。
- ・尺竹を切る切子がないため素材を仕入れることができない。熊本県は切子に補助を行っているそうだ。日田市でも検討してほしい。
- ・椎茸農家の高齢化により生産量が落ちている。
- ・森林組合や林業の業者など、地域の山を守っている管理者に対する負担軽減策を検討してほしい。

- ・日田市の工事をたくさん発注してほしい。
- ・公共工事については、下請けの発注も地元業者にするよう条件に入れてほしい。
- ・市が行う資材価格等の調査に協力して価格が上がっていることを回答しているが、この20年間、単価が上がっていない。現状を反映してほしい。
- ・新車の公用車について、地元の中小企業が原価割れしないような状況で、納品できるように発注してほしい。

(経営の拡大及び新分野への進出の促進)

- ・IT関連企業の誘致が必要。来てもらうためには日田の魅力をどうPRするかが大事。
- ・木材関連企業の誘致。木材関連産業が潤って市全体が発展してほしい。
- ・日田は水や空気がきれいなので製薬会社を誘致してはどうか。
- ・中小企業の振興に有効なのは大学の誘致である。
- ・大企業を誘致しても、人はとられるし、仕事の受注があるわけでもない。地元企業を元気にする視点の政策をお願いしたい。
- ・木工品の試作品をつくる際に補助があると有難い。
- ・異業種交流を推進すべき。
- ・田舎に建設会社がなくなると困るだろうから頑張っている。今の状況では維持するのが難しい。地域内での合併も必要かもしれない。農業や林業など異業種の分野との合併も視野に入れている。
- ・アーティストが日田に来たときに安く泊まれるゲストハウスを建ててほしい。
- ・市内をアテンドする人を育成するとよい。1日では足りないと思わせるまちへ。
- ・市内中心部にキャンピングカーを駐車、宿泊できる環境（生ごみ回収、トイレ、洗面）を整えてほしい。キャンピングカーに乗っている人がすべて、キャンプ場に泊まりたいわけではない。市街地にとめて観光地を散策したい人も多い。
- ・日田の特色は儒学を通じてできた人の教育、モラル、結びつきにあると思うので、それを売りにした外国人向け観光モデルが作れるのではないか。

(創業の促進)

- ・若い人がUターンして創業したいという際に相談支援を充実してほしい。
- ・若者のUターン等での起業時の支援策について、1年後の清算払いではなく、部分払いの対応ができないか。創業から1年の不安な時期に資金繰りを支援してあげることは必要だと思う。

(人材の育成・確保と事業環境の整備)

- ・後継者の問題は商店街だけでなく木材、製材業などでも起こっている。解決には時間がかかる問題なのでしっかりと対策してほしい。

- ・地場産業のあととりが外に出て行かないようにしてほしい。若者が夢をもって日田にとどまれるような対策をお願いしたい。
- ・若者が日田にとどまるためには賃金を上げなくてはいけない。
- ・人材不足になるのは目に見えているので、勤勉なベトナム人やタイ人を活用すべきだ。日本人の大卒の給料を出せばすぐに集まると思う。
- ・Uターン、Iターン希望者に就職先をPRするにはどうしたらよいか。
- ・移住促進について市役所内での連携強化をお願いしたい。移住を考えている人に対して仕事の情報を流してほしい。
- ・移住対策を強化してほしい。使われていない別荘の有効活用ができないか。
- ・市外からの季節労働者向けに、空き家を寮として改築する場合に、費用を支援してほしい。
- ・人口減少対策として、シニアの移住を促進してはどうか。その子どもたちも遊びに日田に来ることも多くなるのでは。
- ・新たに人を雇用する際に人件費の補助があると有難い。
- ・ジョブカードを活用した職業訓練の助成金は、申請から支払いまで時間がかかるので柔軟に対応してほしい。
- ・求職者のスキルを上げてもらいたい。伝票がきれいな、パソコンが使えない人では仕事にならない。
- ・子どもたちへのキャリア教育に力を入れてほしい
- ・福祉業種の就職フェア（ハローワーク主催）にブース出展しているが、年々参加者が少なくなっている。
- ・市役所の仕事を障がい者の事業所へ優先発注してほしい。各課のごみ捨てやコピー作業、市役所の外周の清掃作業など。

（その他）

- ・条例については企業自ら取り組んでいかなければならないと考えている。
- ・補助金の要件に、外貨をどれだけ稼いでいるか、収益を外に吸い上げられていないかという基準を設けてはどうか。地域内に経済循環をもたらすような企業に補助した方がよい。
- ・1千万円規模の補助金を将来有望な若い世代の1社に交付する方が、市内の雇用につながる大きな会社ができる可能性が大きい。
- ・空き地や空き家の利用を促進してほしい。空き家を安くリフォームして低所得者に安価な住宅を提供してはどうか。
- ・国際交流員には市役所の中ではなく街中に出てもらって、外国人観光客向けのサービスを考えてほしい。
- ・市町村合併してから、市の本庁職員との距離が遠くなった。話ができる機会をつくって

ほしい。

- ・国道 212 号を早く復旧してもらいたい。
- ・市の規制緩和を進めてほしい。特に農業委員会と文化財保護課。開発予定地に文化財があると調査費用等は業者負担となる。
- ・水道代を減免してほしい。
- ・水道の開栓が土日にできないのが困る。柔軟に対応してほしい。
- ・耐震化診断を受けるだけで 200 万円かかるので、それに対して補助があると助かる。
- ・日田市は街として十分に機能している。市民が市内での暮らしを楽しむことが大切ではないか。
- ・周辺部（花月や小野）への路線バスの本数が少なくて住民は困っているようだ。
- ・市は市民への IT 教育を公民館に丸投げしている。IT の利活用について市の窓口を作って本気で取り組んでほしい。中津市に比べて取組みは遅れている。